

## 多田公民館地区



### 「緑〜残したい景観」

撮影場所 塩川

6月の初めには、ゲンジボタルが乱舞する塩川。残したい景観の一つだが、河川改修により消失するのではとカメラに収めた。

清和台東 楢原 朋子

### 「赤坂の池」

撮影場所 矢問 赤坂池

あまり知られていないけど散歩コースに最適。水面はヒシで一杯。夕暮れどきは寂しい。

矢問 上田 志津香



### 「矢問高台から西多田方面をのぞむ」

撮影場所 矢問2丁目

赤橋の見えなくなりぬ青葉して（冬場は右端に赤橋が見える。）

矢問 上田 志津香



### 「人も車も」

撮影場所 多田神社御社橋

赤橋は神域ではあるが、生活道路でもある。車一台でいっぱい。人も車も慣れたもの。小学生、中学生、高校生も、西多田、矢問へはこの橋を通る。

西多田 松本 清臣





## 「愛する赤橋と猪名川」

撮影場所 赤橋

見慣れているけど、何度カメラに収めたことか。

西多田 松本 清臣

## 「多田神社境内の築地塀」

撮影場所 多田神社周辺

多田神社の境界は目立たないところに、心の和むスポットがある。境内の築地の白壁もその一つで、塀に沿って植えられているもみじが、春は新緑の色、秋は紅葉、そして冬の枯れ枝の陰は特に繊細で美しい。

向陽台 嶋 啓



## 「多田院前の猪名川のよどみ」

撮影場所 多田神社周辺

多田院の西の茶店裏あたりは猪名川の大湾曲部では、静かな日は瀨(とろ)となり、ことのほか碧い水面が美しい。最近このよどみに二匹の大鯉を見た。

向陽台 嶋 啓

## 「小さな流れ橋」

撮影場所 多田神社赤橋上流

川西では数少ない流れ橋の一つ。大雨が降れば流され、水位が下がれば架けなおす。地域の人に守られてきた自然との共生。まさに持続可能。人々の暮らしを次世代に伝える、大切にしたい小さな自然です。

緑台 塩見 光男



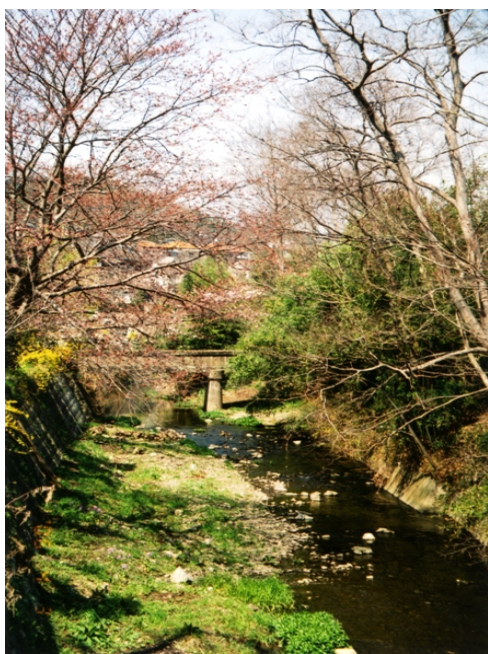
## 「Forsan et haec olim meminisse iuvabit.」

(ラテン語)「いつかこれらのことを思い出すことも、喜びとなるだろう」

撮影場所 多田神社付近

川西は近代化が進んでいますが、ふと、発展した場所から離れてみると、ほのぼのとした風景が広がります。地には、こけや草がまばらに生えている……。これこそ、川西だよなあと思いシャッターを切りました。

久代 西脇 麻里子 (中2)



## 「愛する塩川に思いを寄せて」 1

撮影場所 多田桜木

塩川橋より上流を望む。後方に見える橋は歴史的遺産として多田地区に残されているよみぞ (水路橋)。改修工事で撤去されます。

平野 渡辺 節子



## 「愛する塩川に思いを寄せて」 2

撮影場所 多田桜木

よみぞ (水路橋) のすぐ上流。右岸はお花畑。左岸はホタルの宿。ホタルにとって左岸のマダケは (土や草を含む) 重要な区域。水面に写るゲンジボタルの優雅さに今年も多くの人達が魅了されました。

平野 渡辺 節子

### 「愛する塩川に思いを寄せて」 3

撮影場所 多田桜木

よみぞ（水路橋）より下流を望む。左岸のマダケ。右岸の桜に見守られ、川はいつもやさしい子守歌を唄っています。こんな素朴な自然空間こそが私達の宝物なのではないでしょうか。

平野 渡辺節子



### 「多田神社下より」

撮影場所 多田神社下川岸

中・古世紀層の岩肌を咬む猪名川の流れ。悠久の歴史を語ってくれているように感じるスポット。

湯山台 高橋 悟



### 「多田神社東門を望む」

撮影場所 多田神社境内

新緑に映える多田神社の境内より東門を望む。早朝の静寂の中、思考には最高の場所。

湯山台 高橋 悟



### 「御社橋の猪名川」

撮影場所 多田神社石段下

朝のサイクリングでの休息場所。川の流れの水音、五月山からの日の出、心休まる一時を過ごせる所。

湯山台 高橋 悟